

自立支援協議会の皆様へ

新年度が始まったばかりのお忙しいところ、少しお時間をいただきご報告させていただきます。

2023年1月に、船橋市の保育園で障害のある子の受け入れが限定されているという問題について、自立支援協議会に提起させていただきました。この問題でちばMDエコネットから市に要望書を提出し、関係課と昨年度2回の話し合いをおこないました。話し合いには家族の方々が出席し、当事者の声を直接関係課に聞いていただきました。希望する保育園に断られた保護者から「障害のある子は、いてはいけないんですか」という悲痛な声もありました。関係課からは、改善が必要との認識が出されました。

5月16日に3度目の話し合いが持たれました。保育運営課が出席され、障害のある子の受け入れを進める方向で全保育園にアンケートを出したと報告されました。アンケートは「令和6年度に障害者差別解消法の一部改正が施行され、合理的配慮をおこなうことが事業者に対しても義務付けられることになるため、発達支援児の受け入れを意図的に拒否することは解消法違反となり、早急な改善が求められております」という内容で書かれ、約7割の園から回答があったそうです。

保育運営課では、「今後は全部の園での受け入れをめざし、時間がかかるかもしれませんが全力で取り組みます。次の募集から少なくとも全部の園に希望を出して相談できるようにします」とのことです。1月以来、子育て支援部長（現・こども家庭部長）を先頭にこの問題に取り組み、大きく改善の方向を出してくださった船橋市行政の方々に、厚く御礼申し上げます。今後の改善に期待しております。

2023年5月

ちばMDエコネット 山田晴子